



2025年5月1日

各位

会社名: AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
(コード:254A 東証スタンダード市場)
代表者名: 代表取締役社長 澤田 大輔
問合せ先: 財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL: 03-6261-9511)

株式会社ラバブルマーケティンググループ (証券コード 9254) の「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当する株式取得に関するお知らせ

当社は、2025年2月27日付『株式会社ラバブルマーケティンググループ(証券コード: 9254)の「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当する株式取得と資本業務提携契約締結に関するお知らせ』にて公表しましたとおり、株式会社ラバブルマーケティンググループ(東証グロース、証券コード9254、以下、「LMG」という)の発行済株式総数の20.04%を取得し、資本業務提携契約を締結致しましたが、本日の取締役会において、LMGの株式の追加取得(以下、「本株式取得」という)を決議致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本株式取得は、金融商品取引法第167条第1項及び金融商品取引法施行令第31条に規定する「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当しますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 本株式取得を行う理由について

当社は、2024年10月29日に中期経営計画(AI革命1.0)を策定し、様々なセクターの企業群の構造変革をもたらす可能性のある「第四次産業革命」と目されるAIを軸に、「自己投資事業」「ファンド事業」「PIPEs事業」「投資銀行事業」の4つの事業ドメインにおける戦略的投資・金融活動により日本の成長を支えるキャピタルグループを目指しております。また、オルタナティブ投資としての特性に加え、当社が事業の軸に据えるAIと密接な関係を有する暗号資産投資事業にも積極的に取り組んでおり、2030年3月期には時価総額1,000億円を目標として掲げております。

このような取り組みの中、LMGと協議を行う機会を得て、LMGが取り組むSNSマーケティングの巨大な市場(3兆円以上にのぼる日本のインターネット広告費(出典:電通「2023年 日本の広告費」)の中でも、企業のマーケティング活動に欠かせない領域として年々拡大を続けている市場)、および当社グループ(連結子会社であるショーケースを含む)が取り組む巨大な市場での大きな事業機会を最大限に活用するためには、両者が連携し、相互に顧客を紹介したり、それぞれの強みを活かした新たな商品・サービスを提供したりすることが最適であろうとの合意に達し、当社の中期経営計画において「既存事業を有している/確立済である一方で、AIを活用して新たなビジネスモデルを構築することにより、企業価値の成長を目指す企業群」「AI分野における事業拡大を目指すSIer企業群」



「当社グループで展開予定の『AIファンド』の投資先企業群とのシナジー効果が見込める企業群」等に自己投資を行う「自己投資事業」として、2025年3月にLMGの発行済株式総数の20.04%を取得しました。

また同時に資本業務提携契約を締結し、「顧客の相互紹介」「コラボレーションによる新たなサービスの開発・提供」「様々な分野で強みを持つ企業群によるアライアンス・グループの形成」等に関して協議を行っておりました。（詳細については、末尾「ご参考：（再掲）当社グループとLMGの資本業務提携の内容及び協業した際に期待できるシナジー効果」をご参照ください）

そのような中、LMGの株主である各務正人氏より2025年3月中旬に、「1株あたり1,800円であれば、保有するLMG株式の売却を検討している」旨の株式売却の打診を受けました。1株あたり1,800円という価格は、打診を受けた3月中旬のLMGの株価である約1,400円に対して約400円高い価格であったため、時価である1,400円に近い価格での譲渡の可能性についても同氏と協議を行いましたが、譲渡価格は1,800円については変更不可という結論となりました。これを受け、当社では代替手段として市場内での買付も検討しましたが、今般譲渡を受ける予定の85,000株は、LMGの日々の東京証券取引所グロス市場における出来高に比して非常に大きな株数であり、これと同等の株数を市場内で買付しようとするるとLMGの株価が上昇し、必ずしも直近の株価での取得が出来ない可能性があると考えました。仮に市場で買付を行った場合の平均取得単価が1,400円、1,500円、1,600円、1,700円となった場合には、それぞれ本株式の取得価額よりも3,400万円、2,550万円、1,700万円、850万円低い金額となりますが、株価の上昇により1,800円となった場合には本株式取得の取得価額と同額となり、1,800円を上回る場合には、本株式の取得価額よりも高い金額となることを鑑み、また、同社のSNSマーケティング分野における今後の成長や業績予想・経営目標（LMGが公表済の2025年10月期の業績予想は売上高2,700百万円、営業利益150百万円、親会社株主に帰属する当期純利益80百万円、2029年10月期の経営目標は売上高5,000百万円以上、営業利益400百万円以上、時価総額10,000百万円以上）も評価し、これらを総合的に勘案して、現時点で1,800円という価格で本株式取得を行うことは妥当な範囲内であると判断しました。

更には、当社は、本株式取得は当社のLMGに対する持株比率を上げ、LMGとの資本業務提携関係をより強化する良好な機会であると考えました。そして、当社グループ（当社の子会社である株式会社ショーケースも含む）がLMGと協業した際に期待できる「顧客の相互紹介」「コラボレーションによる新たなサービスの開発・提供」「様々な分野で強みを持つ企業群によるアライアンス・グループの形成」等のシナジー効果は、具体的な施策や数値化は今後行っていくものの、両社が取り組む巨大な市場を鑑みれば大きな可能性を有しており、当社グループの連結業績への更なる貢献が見込める可能性も鑑みれば、直近の株価よりも高い1,800円という価格で本株式取得を行うことは妥当な範囲内であると判断し、決議を致しました。

2. LMGの概要

1	名 称	株式会社ラバブルマーケティンググループ
2	所 在 地	東京都港区虎ノ門四丁目1番13号



3	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 林 雅之		
4	事業内容	SNSマーケティング支援		
5	資本金	50,000,000円(2024年10月31日時点)		
6	設立年月日	2014年7月15日		
7	大株主及び持株比率 (2024年10月31日現在のデータに、2025年3月の当社への株式譲渡を反映)	AIフュージョンキャピタルグループ株式会社 20.04% 合同会社みやびマネージメント 17.1% 各務 正人 10.8% 林 雅之 5.9% 株式会社DMM. com証券 5.8% KGI ASIA LIMITED - CLIENT ACCOUNT 4.1% 横山 隆治 3.2% 長谷川 直紀 2.1% 株式会社日比谷コンピュータシステム 1.7% 株式会社SBI証券 1.7% 青木 達也 1.6%		
8	当社との間の関係	資本関係	当社はLMGの発行済株式総数の20.04%を保有する筆頭株主であります。	
		人的関係	当社の社外取締役である松本高一氏はLMGの社外取締役であります。	
		取引関係	該当事項はありません。	
		関連当事者への該当状況の該当状況	LMGは、当社の関連会社に該当致します。	
9	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	2023年3月期	2023年10月期	2024年10月期
	純資産	552百万円	574百万円	306百万円
	総資産	1,411百万円	1,405百万円	1,726百万円
	1株当たり純資産	369.10円	381.66円	213.45円
	売上高	1,653百万円	1,025百万円	2,161百万円
	営業利益	80百万円	22百万円	137百万円
	経常利益	79百万円	25百万円	147百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	44百万円	9百万円	72百万円
	1株当たり当期純利益	31.46円	6.76円	52.78円
	1株当たり配当金	30.75円	6.68円	51.85円

(注) 2023年6月29日開催の定時株主総会において、事業年度を「毎年4月1日から翌年3月31日まで」から「毎年11月1日から翌年10月31日まで」に変更しております。



3. 本株式取得の概要

当社は、LMGの既存株主である各務正人氏との間で、その保有するLMGの普通株式 85,000 株（2025年1月末時点のLMGの発行済株式総数に対する割合は5.87%）を1株あたり1,800円で譲り受ける株式譲渡契約を締結いたします。

本株式取得の相手先の概要		
氏名	各務 正人	
住所	東京都港区	
職業の内容	勤務先の名称	株式会社グローバルウェイ
	本店の所在地	東京都渋谷区神宮前二丁目34番17号 住友不動産原宿ビル 19階
	事業の概要	プラットフォーム事業、セールスフォース事業、メディア事業、リクルーティング事業、シェアリングビジネス事業
当社と株式取得の相手先との間の関係		
出資関係	当社が保有している株式取得の相手先の株式の数	-
	株式取得の相手先が保有している当社の株式の数	-
人事関係	該当事項はありません。	
資金関係	該当事項はありません。	
技術又は取引等の関係	該当事項はありません。	

本株式取得は、2025年5月9日付で実行される予定で、取得予定価額総額は153,000,000円となり、当社のLMG株式の保有比率は、発行済株式総数の20.04%から25.91%に増加いたします。なお、LMGは本株式取得前に当社の持分法適用会社であり、本株式取得後も持分法適用会社となります。

なお、本株式取得の譲渡価額である1株あたり1,800円は、2025年4月30日終値1,318円に対する乖離率は36.6%上方、2025年4月30日までの1か月間の終値平均1,283円に対する乖離率は40.3%上方、2025年4月30日までの3か月間の終値平均1,351円に対する乖離率は33.2%上方、2025年4月30日までの6か月間の終値平均1,425円に対する乖離率は26.3%上方となっております。

4. 日程

- (1) 取締役会決議日：2025年5月1日
- (2) 本株式取得にかかる株式譲渡契約：2025年5月1日（予定）
- (3) 本株式取得：2025年5月9日（予定）

5. 今後の見通し

本株式取得および資本業務提携契約締結による当社の連結業績への影響については、現在精査中であり、今後、連結業績予想の修正の必要性及び公表すべき事実が生じた場合には、速やかに公表いたします。



ご参考: 当社グループとLMGの資本業務提携の内容及び協業した際に期待できるシナジー効果

(2025年2月27日付『株式会社ラバブルマーケティンググループ(証券コード: 9254)の「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当する株式取得と資本業務提携契約締結に関するお知らせ』の内容の再掲)

資本業務提携契約の概要

当社グループとLMGは、両者の企業価値の向上を図ること等を目的とし、以下の事項について業務提携を実施致します。

- (1) 当社グループとLMGのそれぞれが強みを持つ、DX・AI関連技術及びSNSマーケティングの開発と導入、相互の商品、ブランド、及び事業の展開
- (2) 経営管理機能の共有、グループ間の顧客の連携
- (3) その他両当事者が合意した事項

当社グループとLMGが協業した際に期待できるシナジー効果としては以下が挙げられます。

① 顧客の相互紹介

当社グループであるショーケースのDX分野やAI分野でのサービス、およびLMGのSNSマーケティング分野における市場は巨大であり、更なる需要拡大が予想されます。いずれの分野においても、一部の大手企業を除き社内で豊富なノウハウ・スキルを有した人材を抱えることの出来る企業等は限定的であり、支援を必要とする企業等は無限に存在すると考えられます。そのため、ショーケースのDX分野やAI分野での顧客にLMGのSNSマーケティング支援サービスを紹介したり、LMGのSNSマーケティング支援サービスの顧客にショーケースのDX分野やAI分野での顧客を紹介したりすることで、両者の売上高増加が期待されます。また、当社が強いパイプを有する地方自治体や地域の金融機関に対しても、LMGのSNSマーケティング支援サービスを紹介することで売上高の増加が期待されます。

② コラボレーションによる新たなサービスの開発・提供

中長期的には、ショーケースが持つDX分野やAI分野での技術力・サービス開発力、LMGのSNSマーケティング分野でのノウハウ・サービス開発力、更には当社の他の投資先企業の持つ技術やサービスのコラボレーションにより、AIを活用した新たなSNSマーケティングサービスなど、新規のサービスを開発・提供することで売上高の増加が期待されます。

③ 様々な分野で強みを持つ企業群によるアライアンス・グループの形成

更には、DX分野やAI分野におけるショーケース、SNSマーケティング分野におけるLMGのように、各分野で強みを持つ企業によるアライアンス・グループの形成が考えられます。アライアンス・グループにおいては、グループ内の各企業が経営と商品・サービス提供の独立性を維持しながら、それぞれの顧客を互いに紹介しあい、コラボレーションによる新規サービスの開発・提供を行い、企業や地方自治体が「何か困りごとがあれば、このアライアンス・グループに相談すること

で全て解決される」という存在となることを目指し、それに伴い各社の売上高増加とともに、顧客の囲い込みが期待されます。



- ① 顧客の相互紹介
- ② コラボレーションによる新たなサービスの開発・提供
- ③ 様々な分野で強みを持つ企業群によるアライアンス・グループの形成

以上